

科目名	子どもと生涯学習				担当	大石 茜		
形態	講義	単位数	2	開講時期	2年後期	実務経験	—	
必修	—				ナンバリング	Y1301	DPとの関連	2
授業概要	教育や学習を幅広い視点からとらえ、子どもが生涯にわたって学び、成長することを支える生涯学習のあり方を学ぶ。地域の様々な学習の場や活動を知り、ライフステージに応じた学習のあり方や学習支援の方法について、理解を深める。また、コロナ禍により対面での活動が難しくなっている現状を踏まえ、オンラインを活用した学習のあり方についても考えていく。							
到達目標 学習成果	生涯学習の理念を知り、生涯にわたり学び続けることの意義や必要性を理解する。 学習者の立場やライフステージ、社会状況に合わせた学習の提案ができる。							
授業計画	回	内容						
	1	生涯学習とは	生涯学習の理念や歴史について学ぶ					
	2	家庭教育支援・子育て支援 (1)	家庭教育や子育て支援に関する生涯学習について学ぶ					
	3	家庭教育支援・子育て支援 (2)	コロナ禍での家庭教育や子育ての課題を知り、生涯学習を考える					
	4	グループワーク (1)	グループワークを通して、生涯学習について理解を深める					
	5	子どもの社会教育(1)	子どもの社会教育について学ぶ					
	6	子どもの社会教育(2)	子どもの社会教育について、長野県の事例を中心に理解を深める					
	7	青年期の生涯学習	青年期の生涯学習について学ぶ					
	8	高齢者と生涯学習	高齢者の生涯学習について学ぶ					
	9	地域と生涯学習	地域における生涯学習について学ぶ					
	10	国際社会と生涯学習	国際社会における生涯学習について学ぶ					
	11	グループワーク (2)	グループワークを通して、ライフステージにおける生涯学習のあり方を考える					
	12	IT と生涯学習	IT に関わる生涯学習について学ぶ					
	13	社会問題と生涯学習	社会問題の解決に向けた生涯学習について学ぶ					
	14	NPO・市民活動	NPO や市民活動による生涯学習について学ぶ					
15	まとめ	生涯学習の今日的な課題や展望について理解を深める						
評価基準	グループワーク等への積極的な参加。 期末レポートにおいて、授業内容を踏まえ、生涯学習の意義を自分の言葉で説明できること。							
評価方法	レポート 50% 授業態度 50%							
フィードバック 方法	毎回コメントシートを配布し、必要に応じて授業内でフィードバックする							
アクティブ ラーニング	グループワーク、調べ学習							
教科書	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する							
参考書	松田武雄編著『新版 現代の社会教育と生涯学習』九州大学出版会、2015年							
履修条件	子どもの成長と生涯を通じた学びに関心があること 地域の生涯学習施設に関心があり、訪問する意欲があること							
授業外学習	グループワークに向けた調べ学習							
オフィスアワー	授業のある日の講師室で対応							